

平成29年度日知屋小学校 学校評価書（知育）

平成29年度学校経営基本方針

授業を中心とした日々の優れた指導を行うことにより、意欲をもって学び、確かな学力を身に付け、臆することなく輝く児童の育成を実現する。

4段階評価 4・・・大変よい 3・・・概ねよい 2・・・もう少し改善を要する 1・・・大いに改善を要する

	重点目標	達成基準	具体的実践方策 (主な指導者：◎学校 ○家庭 ☆地域)	評価方法	自己評価		関係者評価	考察	感想・意見
					項目別	総合			
知育	基礎的・基本的学習内容が十分に定着するとともに、深い思考ができる児童を育成する。	・ 全国学力テストが全国、県平均以上	◎ 45分間の充実した授業の 日々の実践	・ 諸学力検査	2	2.7	2.7	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全国学力テストは、国語が県平均とほぼ同じ、算数はやや下回った。また、2教科とも基礎学力よりも活用力を問う問題の方が上回っていた。 ・ 単元、学期のまとめのテストでは、9割超を達成できた学年や教科もあるが全部ではなかった。授業の改善や朝の「ぐんぐんタイム」で、昨年度より全体的な向上と一人一人の向上が見られた。 ・ 家庭学習の習慣が付いた児童は、どの学年も9割を超している。「家庭学習の手引き」の活用や宿題の見届け、家庭の協力による効果が現れている。 ・ 担任による日々の声かけ、児童による選書会、PTAによるお話会の読み聞かせにより、読書への興味を高めることができた。 ・ 年間3回の重点校支援により教師の授業力の向上を図った。各学年とも落ち着いた学習態度が見られるようになった。今後は、問題解決的な学習を各教科で実践することにより、活発な意見交換のある授業を目指す。 ・ 学用品忘れの児童は少ないが同じ児童の場合が多く、より家庭との連携を進めていく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校の教科指導の工夫により、児童の学力が伸びている。今後も取組を継続してほしい。 ・ 家庭教育は学力、社会的応力を伸ばす上でとても重要である。今後も保護者への啓発の継続を図ってほしい。 ・ 学力の向上がなかなか図ることができないお子さんのことで、塾に通って補う必要がある。しかし、児童には、学校の授業を大切に、しっかり受けるようにしてほしい。授業で進んで学ばばよいと思う。 ・ 今後も、読書によく取り組む子どもになるよう力を入れてほしい。 ・ 児童クラブにくる児童が学校で出された宿題などに一生懸命に取り組む姿を見ているが、学習の習慣が身に付いていると感じる。
		・ 主要4教科の単元・学期・学年末各テストの児童個人の平均点が9割超	◎ 45分間の充実した授業の 日々の実践	・ 単元末、期末テスト ・ スト 諸記録	2				
		・ 宿題や宅習の見届けや補充指導により確実に取り組む児童が9割超	◎ 課題に応じた宿題等の準備、見届け、補充指導 ○ 家庭での学習の導きや見届け	・ 日々の見届け	3				
		・ 1週間に1冊以上の学年段階の読書に取り組むことができる児童が9割超	◎○ 学年相応の読書の見届け ○ 家読の実施	・ 読書量調査や見届け	3				
		・ 生き生きと授業に臨む児童の姿	◎ 45分間の充実した授業の 日々の実践 ◎ 主要4教科の授業後段の習熟の時間の確実な設定 ◎ 授業改善のkeyword「分かる！できる！」まで教えよう！の徹底実践 ◎ 授業中の学習態度の指導 ◎ 外部研修会への参加や外部講師の活用による指導力向上につながる研鑽	・ 参観日でのアンケート ・ 保護者からのお便り ・ 教職員相互評価 ・ 教職員研修反省諸記録	3				
		・ 学用品の忘れ物の少ない児童の姿	○ 家庭での声かけや見届け	・ 記録	3				